

広報
しんじょう

5
2004

SHINJO PUBLIC RELATIONS No.557

ISO14001

14年7月認証取得



スケートボード・ストリートバスケット広場オープン(4月6日)

いきいき健康づくり.....2

検証・試験通水.....4

シリーズ行財政改革.....6

江戸だより／いきいき新庄人.....8

しんじょう見聞録.....10

5月のお知らせ.....12

豊かな心をはぐくむ.....14

いきいき新庄、みんなが主役！

「いきいき健康づくり 新庄21」策定



この計画は、市民アンケートや地域座談会での意見を反映しながら市民10名からなる策定委員会により策定しました。

国の「健康日本21」、県の「健康文化やまがた21」を受け、病気の早期発見・早期治療という「二次予防」から病気を予防する「一次予防」に重点をおいた健康づくり計画です。

策定委員の声から

- 重点項目に掲げた食生活・運動は、生活習慣病の発症と予防、寝たきりの予防などと密接な関係がありますので、よく理解し、市民一人ひとりが健康づくりに取り組んでいただきたいと思います。
- 生活習慣病を予防するには、正しい食習慣を身につけることが大切だと思います。特に幼児期から薄味に慣れバランスの良い食生活をさせるため家族でがんばり、市が行う施策を上手に利用してほしいと思います。「家族の健康は、私が守る。」という意気込みで、皆さんがんばりましょう。
- 親になったとき子に説明できるように「なぜ歯を磨くのか」「なぜ良く噛むのか」、少しずつでも年齢や成長段階に応じた理論的な指導が大切ではないでしょうか。
- 若い世代の健康に対する関心が薄いと感じる一方で、乳幼児期からの食生活、生活習慣がとても重要であることを実感しました。子を育てる親の健康への意識向上と、今回の策定をもっと身近に考えるための環境や働きかけが必要であると考えます。
- 計画が計画で終わらないように、地域・行政・関係機関の皆さまから、市民が参加し実践できるようなイベントを実施していただきたいと思います。そしてみんな元気に長生きできることを期待します。
- この計画の特徴は、健康は「守るもの」から「つくるもの」という視点に立ったことと、数値目標を掲げたことです。計画が、より実効性を伴うものになってこそ、はじめて市民の健康が約束されると思います。

新庄市民健康づくり運動計画策定委員会

委員長／山科昭雄 副委員長／伊藤妙子
委員／伊藤光、津田イセ子、高田泰子、花車美穂子、松田文治
高橋欣也、遠藤宏子、伊藤真喜子

◆重点は「食生活」と「運動」

計画の策定にあたり、市民四千五百十四人からアンケート調査に協力いただき、広報で重点分野を紹介しながら、三十回延べ四百四十三人が参加した座談会を開催しました。

その中で、新庄市では「栄養・食生活」と「身体活動・運動」について関心が高く、課題を感じている市民が多いことがわかりました。特に、

塩分の取りすぎと運動不足が問題となっています。

この結果を踏まえ、策定委員会では、国・県の計画で目標値が定められている九分野すべてではなく、「栄養・食生活」と「身体活動・運動」を重点課題として取り組むこととし、年代別の重点課題を定めました。

◆健康づくりはみんなの力で

今後、計画の目標値を達成し、

「市民みんなが元気で長生きできる社会」を実現するため、具体的な健康づくり事業を行っていきます。皆さんもどうぞ積極的にご参加ください。(計画の概要版は六月に全戸配布の予定です)

なお、町内会・グループ・団体などで、計画内容の説明や健康づくりのアドバイスなどの要望があれば、ご連絡ください。

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。

☎内線5135516

「いきいき健康づくり新庄21」で目指すのは…

市民みんなが元気で長生きできる社会の実現

- 生活の質(QOL=クオリティー・オブ・ライフ)の向上
- 壮年期死亡の減少
- 健康寿命の延伸(寝たきり、閉じこもりの予防)



計画の基本方針

- 市民参加の推進
- 病気になるまい健康づくりに取り組む一次予防の重視
- 健康づくり支援のための環境整備

計画の期間

平成16年度から25年度までの10年間
(平成20年度と25年度に目標値の達成度を評価します)

役割

- 地域…健康づくりについて積極的に学習
- 関係団体…健康づくりに取り組みやすい環境整備
健康づくり事業の推進
- 市………関係団体と協力しながら健康づくり事業
の実施と市民への情報提供を行います

重点9分野

- 食生活 ●運動 ●心の健康 ●たばこ
- アルコール ●歯の健康 ●循環器病
- 糖尿病 ●がん



新庄市での健康づくりの課題

- 1日の塩分摂取量が県や全国と比べて多い
- 市民の約7割が運動不足を感じている
- 30歳代～50歳代の運動習慣者の割合が低い
- 中高年の肥満割合が高い
- 市民の約6割は生活習慣病で死亡している



新庄市では
食生活と運動
を重点項目として
取り組みます



わたしの健康法

山下蓉子さん(本宮町)

わたしの健康法のひとつはウォーキングです。夕食後、主人と二人で三十分～四十分歩いています。コースはいろいろですが、近所を中心に、夏には田んぼでホタルを見つげながら楽しんでいきます。

普段の用事も必ず歩いて出かけるようにしており、歯医者さんまで四千歩などと、万歩計で計って目安にしています。

また、平成九年に市開催のウォーキング講座で知り合った友人たちと定期的にウォーキングを楽しんでいます。無理しないで集まれる仲間で、おにぎりを持って東山公園まで歩き、一緒に語り、心のリフレッシュにもなっています。楽しみながら健康になるのが一番ですね。

検証

試験通水

冬期間の水不足の解消に向け、最上川から取水し市街地の流雪溝へ流す消流雪事業も今年で二年目。この度、調査結果、重点エリアでのアンケート調査などの結果がまとまりましたのでお知らせします。市はこの検証結果をもとに、雪に強いまちづくを目指し、地区や関係機関との協議を進めていきます。

15年度試験通水の概要

- 通水エリア 144ha(既成市街地の43%)
 - 対象戸数 4,500戸
 - 重点エリア 城西・千門町地区(指首野川)、栄町地区(中の川)
 - 通水期間 16年1月26日～2月17日(23日間)
- ※市内河川の水量が豊富で積雪が少なかったため、実施期間を変更しました。
- 通水量 0.55t/秒
 - 通水時間 6時間
- ※朝/午前6時～8時、昼/午後2時～4時、夜/午後6時～8時
※今回は日中にも通水しました。

◆流量

最上川の水を指首野川、中の川、升形川の三河川に注水したことから、流雪溝の流量が確保され流雪効果が発揮されました。

◆水質・水温

河川環境への影響調査として、水質・水温について調査しました。水質には大きな変化はなく、水温は導水管が地中に埋設されているため、地熱などの影響により約九度まで温められ融雪効果が大きいと発揮されました。結果として、最上川からの取水は、河川環境に影響を与えないことが検証できました。

◆到達時間の把握

大蔵村の清水揚水機場でくみ上げた最上川の水は、鳥越地区にある

調整工で開閉操作を行い、そこから市街地の各分水工まで二十五分から四十五分で到達しました。今後、各河川に設置している取水ポンプの稼動時間に反映させていきます。

◆水上がり対策

試験期間中の水上がり件数は、十五件でした(前年度は五十五件)。暖冬による影響もありますが、水上がり箇所を改善した効果と各流雪溝利用組合の組織強化、利用者のモラル向上によるものと思われま

◆重点エリアでの検証

○供給水量
十九地点の流量を観測したところ、必要な水量はおおむね確保できていますが、流雪溝施設の状態により水の流れがかった場所があったため、今後、改善していきます。

地区住民の声から

【流雪溝管理組合(ついでん)】

- 町内でも助け合いの組合を作り、一人暮らしの老人の面倒を見なければならぬ制度・規則ができる時代がくると思います。
- 時代にあった活動をしていると思われ、将来も楽しみながら除雪作業ができることと思っています。
- 地区ごとに円滑に行われている所とそうでない所もあるようです。問題と思われる地域で討論会などを開き、住民による意識の高揚を図ることが必要だと思います。

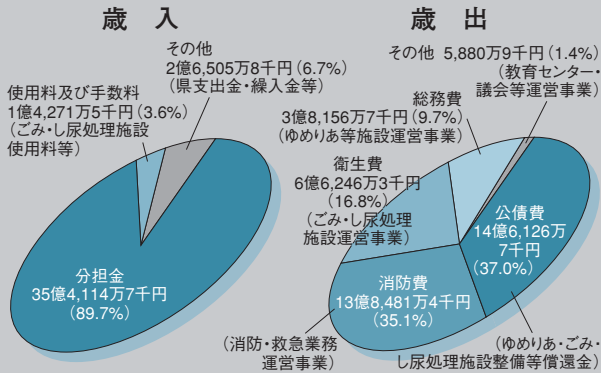
【流雪溝を上手に利用する(ついでん)】

- 投雪時間を守る。時間前に雪を詰め込まない。
- 硬い雪は細かく砕き、水が流れていないときは投雪しない。
- 流雪溝利用組合の自主管理を徹底すること。
- 流雪溝を利用する時間帯について話し合って徹底する。また、水上がりになった場合は、みんなが協力して処理する。
- 個人のモラルを上手に意識させ

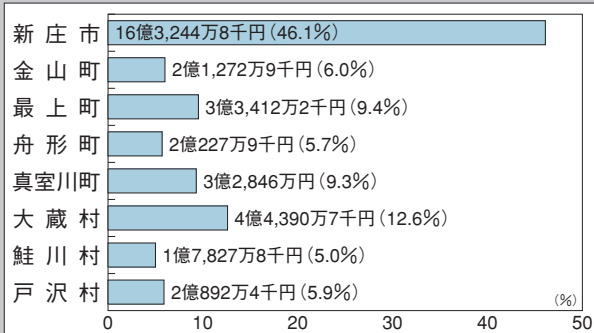
最上広域市町村圏事務組合からの お知らせ

【平成16年度予算】

■一般会計予算 39億4,892万円(前年比3.9%減)



分担金(35億4,114万7千円)の内訳



※うち地方交付税相当額6億5,940万9千円(新庄市3億6,738万円・大蔵村2億9,202万9千円)

■特別会計予算 990万円(前年比29.3%減)

○もがみ大産業まつり、少年少女沖縄派遣交流事業など

【ごみ処理手数料】

7月1日から次のように改正になります。

区分	6月30日まで	7月1日から
可燃ごみ、不燃ごみ 粗大ごみ	10キログラムにつき 110円	10キログラムにつき 140円

【へい獣処理手数料】

4月1日から次のように改正になりました。

区分	金額(1頭につき)	
牛	生後3カ月未満	9,900円
	生後3カ月以上24カ月未満	16,100円
馬	生後3カ月未満	3,600円
	生後3カ月以上	9,800円
豚	生後3カ月未満	2,000円
	生後3カ月以上24カ月未満	2,500円
	生後24カ月以上	4,600円
ヤギなど	4,500円	

◎詳しくは、最上広域市町村圏事務組合業務課へ。☎22-2674

これからの取り組み

2カ年にわたる試験通水により、成果と課題が得られました。消流雪用水の不足を解消するには、新庄農業水利施設の活用が最も効果的な方法です。今後も次のことに取り組んでいきます。

1. 水上がり箇所改善
2. 自然流水の増量
3. 関係機関との調整
 - 水利権の整理と河川状況の把握
 - 新庄農業水利施設の更新使用の取り扱い
 - 新規電気料金制度の創設に向けた活動

○アンケート調査から
地区の実態を把握するため、栄町地区でアンケート調査を行いました。結果は、比較的中在宅している人が多いため、流雪溝の利用は朝が最も多く、次に昼の時間帯で、一日の除雪に費やす時間は二時間程度でした。一回当たりの通水時間は特に問題はなく、投雪時間が分散されればさらに効果的に利用できると考えられます。

また、流雪溝を利用できない地区との公平性を確保するための受益者負担については、約七割が同意しています。

今後、通水対象地区の状況を踏まえ、通水の時間帯や管理運営のあり方などを検討していきます。

○市が行う機械除雪の時間短縮
通水前と通水中の作業時間を比較したところ、除雪時間が短縮され、除排雪費用の削減効果が認められました。

これまでの検証結果をもとに、水上がり箇所や市街地に自然流入する水路などの流れを改善し、流雪溝の流水増加に取り組んでいきます。

◎詳しくは、建設課道路整備・雪対策室へ。☎内線521



▲地区への報告会(4月21日/栄町)

るために、行政による指針表示と地区住民の意識改革が必要です。

徹底した内部努力を基本として

市民とともに進める行財政改革

広報4月号で財政再建のための「財政健全化推進方針」についてお知らせしました。今、市は、行財政改革に向けて全力で取り組んでいます。その考え方や動きをお知らせし、市民の皆さまからもご意見・提案をいただきながら「小さく、元気な市役所づくり」を進めていきます。

◆できる対策から直ちに実行

きわめて厳しい状況にある市の財政を立て直すため、今年七月末までに財政再建計画をつくるという「財政健全化推進方針」の概要について前回お知らせしました。この推進方針では、今後の対策として次の五項目を掲げています。

- ① 徹底した内部努力を基本とする
- ② 事務事業をさらに見直す
- ③ 借金依存体質から脱却する
- ④ 最上広域分担金を圧縮する
- ⑤ 自主財源の確保に努める

各項目は、財政再建計画により具体化していきますが、①の「内部努力」はできることから始めることとし、今年四月から次の対策を実施しています。

◆人件費を抑えます

人件費は、一般会計歳出の四分の一を占めます。この人件費を抑えることが財政立て直しのポイントのひとつであり、手当など給与と職員数を減らすことで、十六年度は二億三千三百七十五万円の削減対策を行いました。

◆職員数の削減に努めます

市の職員数は、平成元年から計画的に削減してきました。平成元年は四百三十六人でしたが、十六年度は、約一割減の三百九十二人となっています。

ここ数年、四百人前後で推移していますが、十六年度以降の十年間で百六十五人の職員が定年退職する

大量退職の時期に入ります。この期間に、どの程度採用を抑えられるかが職員数削減のカギであり、市民の理解を得ながら現在の市民サービスを見直して行政の守備範囲を絞り込み、現在職員が行っている業務を民間企業やNPOなどに委託し職員を少なくしていく方針です。

そのため、何年度に何の業務をどうするのか、市の組織を何人体制にするのかといった「定員管理計画」を十六年度中に定めます。

◆職員行動目標 Make a Change

変化する社会情勢と危機的な財政状況の中で、市民が真に必要とする施策を着実に進めていくためには、行財政運営の改革が必要です。その改革の担い手である職員の意識が従来どおりでは到底達成できません。

職員数の削減

15年度末の退職者5人に対して16年度採用者は1人。全体で4人削減3,375万円削減
嘱託職員を正職員やパート職員で対応することとし、嘱託職員85人から22人に削減。7,996万円削減
パート職員増分を差し引き1億1,371万円
合計額

Change

メイク・ア・チェンジ

(変革)

新行動

「市民協働推進のための指針」をつくります

今、少子・高齢化、地方分権化の進展など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。このような中、行政からの施策を一方的に受けるだけでなく、市民自らが公益的な活動に参加するという動きが活発になっています。

住みよいまちづくりを進めるには、行政の力だけでなく、そこで生活・経済活動を営む人々の力が必要です。新庄市でも、子育て・介護・環境保全などさまざまな分野で、市民・NPO・ボランティア団体・町内会・企業などの活動が、安心と潤いある市民生活を支えています。

そこで、市民の公益的な活動と行政との協働(＝共通課題の解決に向け協力・協調する関係)のあり方について模索し、今後の推進の方向性を定める「協働推進のための指針(仮称)」を策定します。

策定委員会がスタートしました

この委員会は、より多様な意見を取り入れられるよう委員公募制としました。3人の市職員も庁内公募による委員です。

4月21日に、第1回策定委員会を開催し、委員長・副委員長を決定。今後の進め方について話し合いました。

策定委員会メンバー

- 委員長／沼野 慈
- 副委員長／井上 章
- 委員
佐藤眞一、吉田 博、星川 満
福原美南子、片見信廣、鈴木秀之助
柴田理佐、加藤 太、齊藤千恵子
後藤信之、高橋 学



◎企画調整課市民協働広報室 ☎内線245・246

これからも行財政改革に向けた市の考え・動きを随時お知らせしていきます。市民の皆さまのご意見・提案をお寄せください。

平成16年度職員行動目標

(創造) **Make a** (いろいろな)

新発想・

市長の発案で、十六年度の職員行動目標として「make a Change 新発想・新行動」を掲げました。新しい発想で、スピードある新しい行動パターンを身につけ、改革してこういうものです。職員全員が、行動目標を念頭に頑張っていきます。

職員自ら行うことで経費を削減

- これまで嘱託職員を配置していた本庁舎総合案内を四月から本庁舎全職員の当番制で行っています。経費削減だけでなく、来庁者に接する意識の向上や分かりやすい説明の研修として実施しています。(嘱託職員人件費の削減＝年193万円)
- これまで委託していた庁舎の階

段・トイレなど共用部分の清掃を四月から職員が当番制で行っています。(委託料の削減＝年182万円)

● これまで委託していた道路補修などの業務のうち職員が直接行う分を増やしました。(建設課の委託料

の削減＝年236万円)

● その他これまで委託していた市民プラザなどの土日直や施設管理など多くの業務を四月から職員が行っています。

◎総務課行政改革推進室 ☎内線218

職員給与の削減

	削減率	年間削減額
市長	30%	327万円
助役	18%	149万円
収入役	12%	84万円
教育長	12%	84万円
議長	8%	41万円
副議長	8%	36万円
議員	8%	752万円
(議員1人当たり34万円)		
行政委員会委員(教育委員、監査委員、選挙管理委員、農業委員)		
	3%	52万円
一般職員	4%	6,859万円
(職員1人当たり18万円)		
給与削減に伴う事業主負担分		846万円
管理職手当		974万円
時間外・休日勤務手当		1,800万円
合計額		1億2,004万円

※市長から議員までと一般職員は6月と12月の期末手当から差し引く。削減率は、給料月額に置き換えた場合の率。

図書館ボランティア「かやのみ会」、文部科学大臣表彰!

～平成16年度子どもの読書活動優秀実践団体～



▲おはなし会(毎週土曜日/市立図書館)

かやのみ会を紹介します

昭和62年、市主催のボランティア養成講座に集まった受講生が結成。昭和63年、現在の位置に新しい図書館ができてからは、ここを拠点に、いろいろな活動を行っています。現在、会員は16人。仕事や家事で忙しい時間をやりくりして集まっています。オリジナリティーあふれる作品を手作りで製作し、公演に向けて練習しています。ご要望があればどこにでも伺います。

- えほんのよみかかせ/毎週火曜日午前11時～11時30分/対象＝幼児と親
 - おはなし会/毎週土曜日午前11時～11時30分/対象＝幼児～小学生・保護者(かやのみ会は隔週担当)
 - こどものつどい/夏・冬の季節ごとの催し/大型絵本・影絵・絵巻物語
 - 図書館まつり/親子のつどい、パネルシアター、大型紙芝居、本のリサイクルフェアなど
- ◎会員募集中です。詳しくは、市立図書館へ。

☎22-2189

「かやのみ会」は、昭和六十二年から、市立図書館のほか、最上地区の保育所・幼稚園・小学校・老人福祉施設などで「読み聞かせ」を行っています。

最近では、県内各地にも活動の場を広げ、要望に応じて、絵本の読み聞かせ・ペープサート(紙の表裏に絵が画いてあるもの)・パネルシアター・紙芝居など、年間約百六十回を超える公演や訪問・定期活動などを展開しています。

今回の受賞は、こうした長年にわたる活動が評価されたもので、四月二十三日に、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された「子どもの読書

活動推進フォーラム」で表彰を受けました。

かやのみ会代表の須藤敏枝さんに受賞の喜びをうかがいました。「十七年間、地道に活動してきたのが晴れがましい受賞に結びつき本当にうれしいです。会員のみんなと喜びたいと思います。

受賞は、訪問先などでわたしたちを支えてくださった方々のご支援があったからだと思います。また、ここまで続けられたのは、発足当時から引き継がれてきた「無理せずできることをする」というのが良かったのかなと思います。

これからも、会員各自が研さんし、子どもたちに喜んでもら



▲名前の由来となったかやの木の前で(図書館庭園)

えるようになりたい。また、人の交流を大切にして、ボランティアサークルのネットワークを生かし、新庄・最上が読み聞かせの発信地となるような活動を行っていきたいと思います。」

◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線513～516

健康メモ

快適睡眠でリフレッシュ!

睡眠は、心身の疲れをとるためとても大切です。不眠が続くと自律神経とホルモンのバランスが崩れ、血圧・血糖が上昇するなど生活習慣病になりがちです。思考力・注意力も下がり、精神面でも不安定になることがあります。

睡眠時間の目安は、成人では約六～九時間ですが、年齢差・個人差がありますので、日中眠気で困らない程度が良いでしょう。

【熟睡するための生活術】

- 適度な運動で生活にメリハリを
 - 寝る前に食べない。過度の飲酒・コーヒーは避ける
 - ぬるめのお湯で体を温め、入浴後、体温が下がったときに寝ると寝つきがよい
 - 就寝前に心身ともにリラックス
 - 照明は暗めにして静かな音楽や心地よい香りなどで心を落ち着かせる
 - 夜十二時前の決まった時間に寝るなど睡眠リズムをつくる
- いつも睡眠不足を感じている人は、三十分ほどの昼寝でも有効です。眠れない、何度も目を覚ますなどの不快な症状が一月以上続く場合は、医師に相談しましょう。

御家老の江戸だより

新庄の元気の素になりたい

◆新庄藩江戸家老
齋藤 仁宏さん(東京都在住)

東京都渋谷区恵比寿。ビル工場があったことから付いた地名だそうです。その恵比寿駅のそばに私の会社があります。三十歳の時に、それまで勤めていた就職情報誌の仕事を辞めて、今の会社を設立しました。たった三人で始めた小さな会社も、今では四十名ほどの従業員を抱える会社になりました。

私の会社は広告宣伝をする会社です。すから、他の業界よりは多少華やかだったりもします。つい最近も、杉本彩さん、プリンセステンコーさんなどとお仕事をさせて頂いていただきました。(残念ながら庄司永健筆頭家老とはまだお仕事で一緒にできていません) こういった仕事はもちろん楽しいのですが、ぜひ新庄にかかわりを持った

仕事もしたいと常日ごろから思っています。私は、東京で暮らしていますが、一新庄人

としての気持ちがとても強いのです。そして、その気持ちは若かったころよりずっと強くなってきています。幸運にも江戸家老に就任させていただいたおかげで、新庄に縁のある方々とお会いする機会が多くなりました。昨年、ポスターやカタログの制作の依頼があり、それが何度か新庄へ帰れるきっかけとなりました。このような場合、私にとって仕事の大きい小こは関係ないのです。(会社経営者としては本当は問題かもしれませんが…) 私の会社で制作したカタログが評判で、依頼していただいたお店のお役に立ち、多少でも新庄の元気の素になればいいのです。うちのデザイナーも、私の地元の仕事は好きみたいで、ある専門店のカタログ制作はすごく頑張ってくれました。私が言うのもなんですが、うちのデザイナーはけっこう優秀ですから、クリエイティブティ(創造性)には自信があります。また、彼らは仕事を通じて、知らず知らずのうちに新庄に関心や愛着を持ってきているようです。もしかししたら、いずれ新庄にデザインスタジオ…。

▲経営する会社デスクにて

いきいき 新庄人

何事にも興味をもつ

奥山春子さん(泉田)

「5年前に主人の仕事の関係で帰国後、子育てに専念していました。しばらくして市から翻訳・通訳の仕事の依頼があり、市民プラザの国際交流事業で、外国の人たちを交えて子育てや生活様式の違いなどを話したことがきっかけで、外国人ゲストの通訳をさせていただきながら活動に参加するようになりました」と語る奥山さんは京都生まれ東京育ち。16歳から20年間米国で生活し、新庄出身のご主人と帰国後、英会話教室を営むかたわら国民文化祭でボランティア通訳を行ったり、かもしかクラブ会長や市の行政改革委員を務めるなど、双子の子育てを楽しみながら社会活動にも積極的に取り組んでいます。

「欧米人に比べ私たち日本人は、対人関係において言葉で物事を説明することにあまり慣れていないように思います。“以心伝心”という言葉があるように、言わなくても分かるだろうと思ってしまおうとのおのずと言葉足らずになってしまいます。心のコミュニケーションももちろん大事ですが、本当の相互理解のためには、話す側は相手にとって理解できるまで話を掘り下げたり、納得いくまで説明する努力を惜しまないことです。また、聞く側は相手の言いたい

ことをできるだけ理解するように心がけることが大切だと思います。また、人それぞれの考え方も尊重し、その個性に合わせた対応ができる柔軟性も必要だと思います」と異文化生活で得た教訓を語ってくれました。

「英会話を人に教えたのは新庄に来てからです。でも、指導を続けるうちに、学ぼうとする人たちの熱意に応えたい、さらに可能性を伸ばすお手伝いがしたいと強く思うようになりました。指導の経験から言えることは、英語の学習も大切だけれども同時に自分の国の言葉を大事にし、きちんと話せること。自分の意見や考え、自分の国のことを話せるようになる努力を今後も続けてほしいと願います。わたし自身もその勉強を続けていきたいと思っています。

私は好奇心旺盛なタイプなので、やりたいことがいっぱいあります。これからも、疑問に思うこと・知りたいこと・興味があることを自分から追い求め理解を深めたいと思っています」

「今後は長年細々と続けてきた染織の仕事に本腰を入れたい」と話してくれた奥山さんの笑顔はとても輝いていました。



▲自宅で糸を紡ぐ奥山さん

聞 録

季節の話題・市政の動き・催しなどを紹介するページです



▲みんなで祝った長寿100歳(4月5日/神室荘)



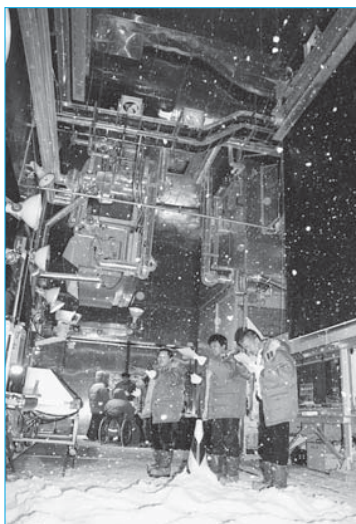
▲新庄・最上地区春季ロードレース大会(4月4日/市民球場前出発)



▲花見前に行われたボランティア公園清掃(4月17日/最上公園)



▲水田農業推進協議会設立総会(4月9日/ゆめりあ)



▲第28回一般公開(4月17日/長岡雪氷防災研究所新庄支所)

100歳おめでとう!

「あんこもちが大好きで、昔は1升くらい食べました」と語る小関繁蔵さん(明治37年4月3日生まれ)が満100歳を迎えました。小関さんは9年前、神室荘に入所。100歳のお祝い会では、多くの入所者から祝福を受け笑顔で応えていました。平成9年に制定された長寿祝いを受けた方は、小関さんで11人目となりました。

春季ロードレース

第50回山形県縦断駅伝競走大会の選考会を兼ねた新庄・最上地区春季ロードレース大会が行われ、中学・高校・社会人80人の参加者が日ごろの練習で鍛えた健脚を競いました。

ボランティア公園清掃

花見を前にした最上公園をきれいにしようと、御堀端自治会・新庄青年会議所・市民ボランティアの約100人がボランティア清掃を行いました。雪解けとともに出てきたごみ・たばこの吸殻・ペットボトル・空き缶など、拾い集めた量はトラック3台分にもなりました。参加者からは「きれいになった公園でお花見ができるのが今から楽しみです」と芽吹き始めた桜を見つめていました。

雪の結晶がきれい!

天然の雪とほぼ同じ結晶で雪を降らせることができる世界唯一の実験施設をもつ長岡雪氷防災研究所新庄支所の一般公開が行われました。マイナス10度の大型低温実験室では、降りしきる人工雪や雪の結晶に見学者からは驚きと歓声が。また、ダイヤモンドダストの再現やペットボトルを使った結晶作りも行われました。今年は土曜日の一般公開となり、身近にある貴重な施設見学を体験できました。



春の風物詩「カド焼き」

満開の桜の下でカド(春告魚)に舌鼓を打ちながら春の訪れを楽しむ「新庄春まつりカド焼き大会」が盛大に行われました。春になると大型のカドを焼き、家族や友人たちと春の喜びを分かち合ってきたこの行事も、ニシンが捕れなくなり、すたれていた時期がありました。そこで、昭和49年に「カド焼き」を春まつりの行事にしようと、新庄観光協会が市民に参加を呼びかけ復活させました。今では、新庄の春の風物詩として県内外に知られるようになった「カド焼き大会」。今年も多くの参加者でにぎわい、会場には歌や人々の笑い声が響いていました。



▲春まつり・カド焼き大会(4月24日～5月5日/最上公園)



▲山形県縦断駅伝競走大会(4月27日/市役所前)

栄光をたたえて

■第2回全日本女子アマチュアボクシング大会
【競技の部】フェザー級③矢口美穂(新庄神室産業高3年)【演技の部】⑥高橋尚子(新庄北高3年)

■第21回新庄・最上地区春季ロードレース大会
【一般の部/10km】①石井貴大(真室川町教委)②前田信一(JR東日本)③井上徹(最上総合支庁)④松田吉弘(新庄市教委)⑤菅野学(県庁)⑥八鍬敏彦

【高校の部/10km】①佐藤亨(東海山形)②今井達弥(東海山形)③小野智彦(金山)④青山浩之(酒田南)⑤高橋勝利(新庄神室産業)⑥笹原翔太(東海山形)

【中学の部/3km】①渡辺慎吾(舟形)②佐藤雄太(金山)③柿崎雄斗(日新)④桂田佳輝(及位)⑤矢口靖士(新庄)⑥小沼翔(金山)

【女子の部/3km】①外崎恵美(日新中)②清水彩(新庄南高)③和田佳(戸沢Jr駅伝)④松田奈緒(金山中)⑤外崎理紗(新庄南高)⑥阿部加奈(明倫中)



▲歴史ある建物群に映える桜(4月21日/エコロジーガーデン・産直まゆの郷)



▲市内初の民間立保育所となったパリス保育園入園式(4月5日)



▲咲きそろった桜(4月25日/泉田桜通り)



▲満開の桜(4月21日/最上公園)

ら・せ

イベントや行政案内など
まちの情報を紹介するページです

5月31日は世界禁煙デー
＝ 禁煙週間5月31日～6月6日 ＝
◎健康課健康推進室 ☎内線515

募集

第46回市民登山会

▼対象 小学4年以上の健康な人(先着40人) ▼とき 6月13日(日)午前5時30分市役所前集合～午後7時新庄着

▼コース 秋田駒ヶ岳(健脚コースと一般コースがあります) ▼参加費 3,000円(保険代など)

▼申し込み 6月4日(金)まで
◎生涯スポーツ課 ☎22-0681

ピアノ弾き込み ボランティア

市民プラザに備えているグランドピアノの音質など性能を維持するため、弾いてくださ

る方を募集します。

▼定員 若干名
▼受付 5月15日(土)から
◎市民プラザ ☎22-4200

河川愛護モニター

▼対象 川に接する機会が多く河川愛護に関心のある成人(若干名)

▼委嘱期間 7月から1年間
▼内容 河川に関する情報提供、定期的な巡視とレポート提出、イベント参加など

▼報酬 月4,580円
▼申し込み 5月21日(金)まで
◎新庄河川事務所 ☎22-0251

障害者文化・芸術講座

▼対象 市内在住の障害者
▼ところ 老人福祉センター
▼定員 各30人

▼申し込み 5月25日(火)まで
ちぎり絵教室

▼とき 5月31日(月)、6月28日(月)、7月26日(月)いずれも午前9時30分～11時30分

▼講師 大江信子さん
▼受講料 800円(材料代)

▼とき 5月28日(金)、6月29日(火)、7月27日(火)いずれも午前9時30分～11時30分

▼講師 涌井弥瓶さん
▼受講料 1,500円(材料代)

※いずれの作品も「市民健康福祉まつり」に展示します。
◎新庄市身体障害者福祉協会 ☎22-2638

新庄吹奏楽団員

▼対象 高校生以上の楽器経験者 ▼練習日 毎週水・土曜日午後7時～9時30分 ▼ところ

国民年金の学生納付特例制度

本人の前年所得が68万円以下の場合、申請して承認されると在学中の保険料の納付が猶予されます。申請は毎年度で、在学証明または学生証の写しが必要です。
◎詳しくは、新庄社会保険事務所 ☎22-2050、市民課国民年金担当 ☎内線134へ。

地価公示価格

用途	所在地	価格(m)	変動率
住宅地	大町12-14	46,500円	△ 5.5%
	下金沢町13-25	38,200円	△ 4.0%
	小田島町6-8	52,600円	△ 4.9%
商業地	本町3-39	93,900円	△ 9.7%
	沖の町1-5	107,000円	△ 10.1%

(平成16年1月1日現在)

◎詳しくは、企画調整課企画政策室へ。
☎内線241

ろ 農村環境改善センター
◎新庄吹奏楽団・高橋 ☎090-7321-6742

第5回蒼空の会 絵画大賞展作品

▼対象 高校生以上
▼作品 未発表の自作絵画(F150号以内)

▼出品料 3,000円
▼搬入日 6月19日(土)午前10時～午後4時 ▼賞 大賞1点10万円、奨励賞1点1万円
◎蒼空の会事務局・田口 ☎22-6235

ママさんバレー(9人制) チーム「日新」

▼対象 どなたでも
▼練習日 毎週水・金曜日午後7時30分～9時30分
▼ところ 日新小体育館
▼会費 月1,000円
◎事務局 高山 ☎22-43998

自然観察会
清流小国川の源流を訪ねて

▼とき 5月23日(日)午前8時30分市役所前集合～午後4時解散(予定) ▼ところ 最上町赤倉地区 ▼参加費 1,000円(保険代など)
◎神室山系の自然を守る会・海藤 ☎22-8713

夏休み海外派遣事業

▼対象 小学3年生～高校生
▼期間 7月下旬～8月(8日～21日間) ▼コース ミヤンマー、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、シンガポール、スペインなど
▼参加費 12万8千円
▼申し込み 6月7日(月)まで(コースにより異なります)
◎財国際青少年研修協会 ☎03-3359-8421

新庄まつり観覧席(アビエス) 6月1日から電話受付開始

今年は電話受付のみとなります

8月24日(火) 宵まつり	全席	1,000円
8月25日(水) 本まつり	スタンド席	1,000円
	スタンド以外	500円

◎受付 6月1日(火)午前8時30分から
◎予約電話 ☎22-6686
※満席になり次第締め切ります。7月27日以降の取り消しは、雨天中止でも返金しません。
◎詳しくは、新庄まつり委員会へ。☎22-6855

「産直まゆの郷」山菜まつり

◎とき 5月30日(日)
午前9時30分～午後6時
◎内容 山菜・農産物販売、焼きおにぎり・アイスなどの屋台販売、みず汁の振る舞い
◎詳しくは、産直まゆの郷 ☎23-5007、農林課農林振興室 ☎内線261へ。

ツツガムシ病に注意

◎予防 ①素肌をできるだけ露出しない、②草むらに直接座らない、③防虫剤などを衣類に散布する、④帰宅したら早めにふろに入り、衣類を洗濯する(症状が出たらすぐに受診しましょう)
◎詳しくは、健康課健康推進室へ。☎内線514



水路やため池には危険がいっぱい!
水路事故防止のため声かけをお願いします
◎最上総合支庁農村整備課 ☎22-4035
新庄土地改良区 ☎22-3588

5月のお・知

お知らせ

※当日中止になる場合もあります。

◎税務課納税室 ☎内線147

こころの健康相談

▼対象 悩みを抱えている本人と家族 ▼とき 5月24日(月)午後1時30分～4時(予約制)
▼内容 専門医師による個別相談 ▼ところ 保健センター

▼申し込み 5月20日(木)まで
◎健康課健康推進室 ☎内線516

電話加入権の公売

▼とき 5月27日(木)午前10時30分(15分前に集合) ▼ところ 役所3階第一会議室
◎持ち物 印鑑・免許証

不動産の競売

▼物件 宅地など約20件
▼閲覧 5月21日(金)～6月24日(木)まで ▼入札期間 6月17日(木)～24日(木)
▼開札 7月1日(木)
◎山形地方裁判所新庄支部 ☎22-0265

国税の電子申告・納税

6月1日から国税の申告・納税などの手続きをインターネットを利用して行うことができます。
◎利用できる手続き ①所得税・法人税・消費税の申告、②

全税目の納税、③各種申請・届出

※利用には事前に「開始届出書」の提出が必要です。

書状等贈呈事業

◎新庄税務署 ☎22-5111
独立行政法人平和祈念事業特別基金では、次の方に内閣総理大臣名の書状などを贈呈しています。

①旧軍人軍属で恩給などを受給していない恩給欠格者の方(請求を行うことなく亡くなられた恩給欠格者のご遺族)
②終戦に伴い本邦以外の地域から引き揚げてこられた方
※申請は独立行政法人平和祈念事業特別基金へ。
◎福祉事務所生活支援室 ☎内線542

相談など

憲法週間無料法律相談

●とき 5月26日(水)午前10時～午後3時
●ところ 市民文化会館
●対応 最北弁護士会
◎詳しくは、市民課市民相談室へ。☎内線125

心配ごとと無料相談

●一般相談 毎月第2・4金曜日 午後1時～3時30分
●弁護士相談 5月21日(金) (奇数月の第3金曜日/予約制) 午後1時30分～3時30分
◎いずれも老人福祉センターで行います。詳しくは、新庄市社会福祉協議会へ。☎22-5797

出張無料税務相談

●とき 5月28日(金)午前10時～午後3時
●ところ 市役所西庁舎市民相談室分室
●内容 所得税、消費税、相続税、資産の譲渡などの国税について
●対応 仙台国税局税務相談室酒田分室 【15年分所得額証明書などの交付】 15年分所得額証明書、16年度課税額証明書の交付開始日は、次のとおりです。
●市・県民税が給与から差し引かれる人 5月14日(金)から
●それ以外の人 6月16日(水)から
◎いずれも詳しくは、税務課課税室へ。 ☎内線142・143

琴城流大正琴ミニコンサート

●とき 5月22日(土)午後1時開演
●ところ 市民文化会館小ホール
◎入場無料です。詳しくは、事務局・藤沢へ。 ☎22-2175

新庄南高校定期公演

●とき 演劇部/5月29日(土)午後1時30分開演、吹奏楽部/5月30日(日)午後3時開演
●ところ 市民文化会館大ホール
◎いずれも入場無料です。詳しくは新庄南高校へ。 ☎22-1547

軽自動車税の減免

身体の障害などで歩行が困難な人または障害のある人のために運転する軽自動車の税金は、減免される場合があります。
◎申請期限 5月24日(月)
◎詳しくは、税務課課税室へ。 ☎内線141・153

市税の口座振替をご利用の方へ

これまで納期ごとに口座振替領収済通知書を送付していましたが、今年度から各税目の最終納期限後に一括して送付します。
◎対象 市・県民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料
◎詳しくは、税務課納税室へ。 ☎内線146

家族介護者交流激励支援事業

◎対象 要介護4・5または痴呆性老人の家族を介護している人
◎内容 バスによる日帰り旅行
【日本海の幸を堪能する湯野浜の旅】 7月14日(水)/申し込み=6月14日(月)まで
【庭園散策と天童温泉の旅】 9月8日(水)/申し込み=8月9日(月)まで
【新庄・最上いい所だけ再発掘の旅】 11月2日(火)/申し込み=10月4日(月)まで
◎いずれも参加無料です。詳しくは、福祉事務所高齢障害支援室へ。 ☎内線552・553

ソルガムの種まきを体験しませんか

今年もソルガムからエターノールを作る実証実験を行います。
◎詳しくは、エコロジーガーデンへ。 ☎29-2122

「豊かな心をはぐくむ」

——新しい時代への人づくり——

今回は、地域全体とかわりを持ちながら、特色のある環境教育を実践している学校の取り組みについて紹介します。

生活に身近な環境教育

北辰小学校には、樹齢数百年を越すといわれるシンポルの樺の大木をはじめ、桜やもみなど五十種類の樹木があります。また、周辺には田んぼが広がり、指首野川が流れています。これらの身近な自然環境の中で昨年度から環境教育を実践しています。

昨年の秋、校庭の落ち葉を集め、新庄バイオマスセンターの協力を得て腐葉土作りをしました。木々の葉が栄養分を含んだ土になり、その土で野菜を作り味わうことで、「自然の循環」を学びながら自然の恵みを実感し、感謝の心を育むことができるを期待しています。

昨年九月には東北芸術工科大学の三浦先生を招き、地球温暖化について学習会を開催しました。子どもたちからは「私たちのように物にあふれた国が出す二酸化炭素で、キリバス共和国が海に沈んで

しまつなんて。何とかしなければ」という声があがりました。

その後、学校では「指一本でできる省エネ」を合言葉に、電気をこまめに消したり、水の出しっぱなしを防いだり、「省エネナビ（消費電力などの簡易測定器）」の活用にも取り組んでいます。

総合的な学習の時間「かがやきタイム」の実践から

昨年度、六年生は「樹木」、五年生「メ」、四年生「イバラトミヨ」、三年生「ホタル」をテーマに学習しました。

四年生は、山形県ふるさと保全指導員の星川靖捷さんから指首野川にすむイバラトミヨを実際に見せていただきました。そして、絶滅危惧種となっていること、湧き水が豊富で年中十二度〜十五度の水温の所にすんでいることなどを知ることができました。

六年生の土壌生物調べでは、教



▲電力会社による授業

育研究センターの舟生先生から、生物を集めるための装置の作り方を教わりました。そして、トビムシなど顕微鏡で見なければ分からないほど小さな生物を見つけ感動し、それらが落ち葉を腐葉土に分解していることを学びました。

地域への情報発信

PTA広報誌「けやき」で学校の取り組みや環境問題に関する記事を集め、地域の啓発を図りました。また、環境学習や授業参観の案内を出し、学校や子どもたちの取り組みを見てもらいました。

学校だけではなく地域全体が、環境に対する豊かな感受性を持つ子どもたちを育てるとともに、身近な生活に意欲的にかかわりながら、より良い環境作りを目指して取り組み始めています。

(北辰小学校)

地名伝説

中世の土豪が開いた土地

——栗明・萩野明——

戸沢氏が新庄に入ってくる少し前、最上地方を治めていた大蔵村の清水氏が、宗家である山形の最上氏に滅ぼされ、新庄地方は、最上家の直轄地となり、最上家臣・日野将監に治められた。慶長十九年（一六一四）から、最上家がお家騒動で取り潰される元和八年（一六二二）までの八年間にすぎないが、日野将監は新庄沼田城を居館にし、城下町の整備を行ったので、この時から新庄が最上地方の政治・文化・経済などの中心地となったのである。

この日野将監が、新庄地方の豪族たちを把握するため、豪族たちに領地を認める「知行村付」という文書を発行した。この日野氏時代の知行村付は現在四通確認されているが、その中で、「兼院（飛熊野神社の別当にあてられた文書に「新城之内」「へりの木みやう」という地名がある。これを漢字に当てはめると「栗の木名」となると考えられ、「名」とは、中世の土豪たちが新しく開いた私有地、つまり「名田」のことであるので、「新城（庄）の栗の木名」は、だれか土豪によって開かれた名田と考えられるのである。

～図書館はオアシス～

BOOKS NOW!

今月のおすすめ

『フューチャー・イズ・ワイルド』

ドゥーガル・ディクソン&ジョン・アダムス著

あらゆるデータをもとに未来生物学を駆使して、驚異の進化を遂げた500万～2億年後の地球の生命世界を描く。興奮と驚異に満ちた大人の科学的ワンダーランドを楽しもう!



● 今月のテーマ展示 ●

『2003年度市立図書館ベストリーダー』

2003年度に貸し出しの多かった本を一堂に集めました。毎年大人気のコーナーです。どうぞおいでください!2003年度に各賞を受賞した作品も、同時に展示しています。

新着図書

- ◆ 弱法師(ヨロボシ) ……………中山 可穂
- ◆ 悪の条件～牛尾刑事・事件簿～…森村 誠一
- ◆ 偽偽満州(ウェイウェイマンジョウ) …岩井志麻子
- ◆ 宇田川心中 ……………小林 恭二
- ◆ ココロとカラダが元気になるプチヨガ 綿本 彰
- ◆ ウェルカム・ホーム! ……………鷺沢 萌
- ◆ 湯けむり浄土～花輪大八湯守り日記～
……………高橋 義夫
- ◆ 嗤(ワラ)う聞 ……………乃南 アサ
- ◆ 王妃に別れをつけて ……シャンタル・トマ
- ◆ 夜回り先生 ……………水谷 修
- ◆ サワコの和 ……………阿川佐和子
- ◆ エロチカ ……………e-NOVELS 編
- ◆ 十三歳の仲間～御宿かわせみ～ 平岩 弓枝
- ◆ 刀 ……………辻 仁成
- ◆ 冬のソナタ～韓国ドラマ・ガイド～
……………日本放送出版協会 編
- ◆ スイートリトルライズ ……江國 香織
- ◆ イタリア幻想曲～貴賓室の怪人2～
……………内田 康夫
- ◆ 廃帝 ……………森 真沙子
- ◆ 直筆商の哀しみ ……ゼイディー・スミス
- ◆ トリビアの泉(5・6)
……………フジテレビトリビア普及委員会 編
- ◆ 日々是(コレ)作文 ……………山本 文緒
- ◆ 人生讃歌 ……………美輪明宏・齋藤 孝
- ◆ 恋なんて、少し不幸ぐらいがちょうどいい ……唯川 恵
- ◆ 影に潜む ……………ロバート・B. パーカー
- ◆ 子どもがよろこぶ!読み聞かせ絵本101冊ガイド
……………西本 鶏介
- ◆ さくら伝説 ……………なかにし 礼
- ◆ ぼくのボールが君に届けば ……伊集院 静
- ◆ 戦争で儲ける人たち ……ダン・ブリオディ
- ◆ 夫というもの ……………渡辺 淳一
- ◆ メジロの来る庭 ……………庄野 潤三

幼年消防クラブ 子どもたちが「火の用心!」

「マッチ一本火事のもと、お父さんたばこに気をつけましょう、お母さん台所に気をつけましょう、ぼくたち、わたしたち絶対に火遊びはしません」と、子どもたちの声が響き渡りました。

春の火災予防運動に合わせて、中部保育所、北部保育所、南部保育所の幼年消防クラブの子どもたちが、それぞれ保育所ごとに消防積載車に乗って市内を巡回広報し、火の用心を呼びかけたのです。

おそろいの法被(はっぴ)と鉢巻き姿で消防積載車に乗り込んだ子どもたちは、マイクを握って元気いっぱいには防火の誓いを披露。道行

く人もかわいらしい子どもたちの呼びかけに思わず立ち止まり、笑顔で手を振っていました。幼年消防クラブによる火災予防広報活動は、市と市消防団の企画で平成十四年から実施しており、春と秋の年二回開催しています。

幼年消防クラブ員となっている保育所の子どもたちは、現在三百九十三人。春の消防演習などでも防火予防に活躍しています。火災の発生件数は、近年は減少傾向にあるものの、民家火災や山林火災など、ひとたび発生すればその被害は重大なものです。火災を防ぐには、日ごろから



▲火災予防活動(4月20日/北部保育所)

の心がけが何より大切です。

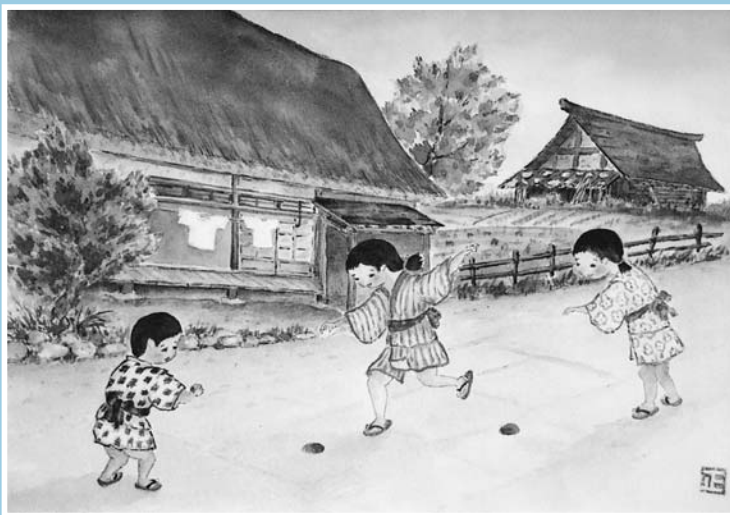
その土豪がたれたのかは定かではないが、いずれにしても「栗の木名」は、江戸時代以前に開かれた名田であることは確かである。

この「栗の木名」の地名は、現在見当たらないが、堀端町の西側、指首野川畔に「栗明」という小字名がある。「栗の木名」が、いつしか「栗の木明」、「栗明」に変わっていったものと推察される。

(市史編さん室)

かつろく～思い出の四季～

石けり



を投げる。成功すれば、○や□を跳びながら、その石のところに行つて蹴る。おわりまで行つて、早く帰れば勝ちとなる。こうしたルールは、自分たちでいろいろ決める。あそびは何であつたか、こどものものだ。大人の人も、時々入つてほしいな。

絵Ⅱ三条正美、文Ⅱ笹喜四郎(昭和六十一年新庄市発行)

こどもは、あそびの天才なんだ。土と石と草、それに木と水があれば、一日中飽きることなくあそべる。地面に○や□をかき、石を蹴つて、次々に順番のところに入れていく。石が線にあがつたり、はずれたりすれば失敗で、相手が替わる。相手は、失敗したところに石



ストリートバスケット広場(4月25日)

4月号の正解は「②249年」でした。広報4月号を読んだ感想から紹介します。「～中略～いきいき新庄人の記事に励まされました。向上心を持ち続け、より良い花をこれからも楽しませてほしいと思います。今後とも、面白く中身のあつた広報を楽しみにしています」5月号では、5人に図書券をプレゼントします。

かむてん クイズ



さて問題です。「いきいき健康づくり新庄21」で重点項目として取り組むのは「食生活」ともう一つは何でしょう。①心の健康、②歯の健康、③運動／はがき・ファクス・eメールに「①答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報紙を読んだ感想など」を書いて、〒996-8501新庄市企画調整課市民協働広報室あて、5月25日まで応募してください。

ファクス 22-0989/eメール kikaku@city.shinjo.yamagata.jp

表紙の写真

青空へジャンプ! ～かむてん公園～

念願だったスケートボードとストリートバスケットの練習場。クラブを発足し4,000人の署名を集め、多くの関係者の努力が実り、この春ついに完成。オープン式典では新庄・最上スケートボードクラブ代表・斉藤拓さんが感謝とマナー厳守の言葉を述べ、若者たちが次々と技を披露しました。



3月末現在の新庄人

41,285人(41,404人)

女 21,531人(21,537人)

男 19,754人(19,867人)

世帯数 13,356世帯(13,230世帯)

3月の異動

出生 38人(30人)

死亡 29人(35人)

転入 277人(262人)

転出 482人(517人)

※()は1年前の住民基本台帳